

先祖の記憶

安洞院住職

横山俊顕

日ごとに暖かくなり、野の花の香りを感じられる季節になりました。境内ではシダレザクラが満開を迎え、これからいよいよソメイヨシノが次々に花開いていく季節、特に山門と祈りの広場周辺のサクラは見事です。

そのサクラの花の香りを一例に用いた生物学の実験の記事を読む機会があり、大変驚いたことがあります。それは「先祖の記憶は遺伝するか」という内容のものでした。

少々残酷ですが…ある特別な匂い（実験ではサクラの花びらのよい香り）とともに電気ショックを与える体験をオスのマウスに何度も重ねると、サクラの香りがただで怯えしを反応を示すようになります。人間が梅干しを見ただけでよだれが出るのと同じ原理の「条件反射」と呼ばれるものです。

米国のエモリー大学の研究チームが、このマウスの性質が子孫に遺伝するかを調査しまし

た。すると、子や孫の代までその性質が遺伝していたことが分かったのです。子や孫のマウスに同様の実験を行うと、親の世代に恐怖を学習していた子孫ほど、他のマウスと比べてより敏感に反応を示したというのです。ある特定の香りそのものに先天的な恐怖を感じるということではなく、香りと電気ショックの条件付けを行った場合に限って、その様子が表れるとの内容でした。^注



特定の香りが危険なものだということの子孫に残すためのシステムといえるでしょう。子は嗅覚から敏感に危険を察知できることで、生きのびる確率を上げることになります。

「香りそのものの記憶を残さない」というさじ加減も絶妙です。香りを感じる子孫の自由度を制限しない形で、何らかの条件下で危機に直面した時にのみ発動するのが先祖の記憶なのでしょう。まさに「草葉の陰から」遺伝子レベルで見守ってくれているといえます。私たち一人ひとりの生命は、思うと思わざるとにかかわらず、誰もが「見守られている」いのちなのです。

近年の脳科学や生物学、天文学などの科学の分野の研究の発展は目覚ましく、その人智を超えた世界知るほどに、宗教という目に見えない領域にも共通するものが少なくないと感じます。ドライバーマ十四世もそのような理由から、さまざまな分野の研究者たちと対話することで世界の平和を訴え続けているように。

サクラの花の香りを少々不名誉な引き合いに出してしまいましたが、春の花の香りを存分に楽しむことが許されているのが私たちの生命の営みです。百花繚乱の春、先祖に感謝して、野の花の香りや墓参のお線香の香りを味わってみてはいかがでしょうか？

【注】ソトコト web サイトより 福岡伸一-の生命浮遊『記憶は遺伝するか』より <https://www.sotokoto.net/jp/essay/?id=100>



「松風塵外心」(松風塵外の心)
 大本山總持寺独住第18世貫主・孤峰智瑛 禅師筆

松 風の清々しい音に耳と心を洗われて、俗世の塵から遥か遠くに隔たった境地のこと。お茶の世界では釜の湯のたぎる音のことを松風と表現した。現代、人間の五感視覚と聴覚だけが酷使されているといわれる。眼を閉じて、風の音だけを聴くような贅沢を忘れてしまうなんて、もったいない。

今月の予定

▼日曜寺子屋

4月16日(日) 午前6時～ 於：安洞院
 朝の読経の後、前任職による講話が行われます

▼ご詠歌(曹洞宗の梅花流詠歌)

《練習日》
 5月9日(火) 午後2時～ 於：安洞院
 練習会随時見学できます。ご希望の方はどうぞ。

▼安洞院華道会

4月19日(水) 午後2時～
 於：文知摺 講師：龍生派・桐山千峯 先生

▼ヨーガの会・レギュラークラス ※赤字の日は坐禅あり

平日昼(火) 4/4、4/18 午前10時～
 平日夜(水) 4/12、4/26 午後7時～
 於：文知摺観音 初回のお申込みは安洞院まで
 会費は体験1,000円です

▼文知摺観音・普門院祭礼と植樹祭

4月16日(日) 於：普門院(文知摺観音)
 午前10時～ 植樹祭
 午前11時～ 春季祭礼

植樹祭お申込みの方で当日ご参加される方は汚れても良い動きやすい服装でお出かけください。植樹祭の終了後、水月庵にて祭礼の法要を執り行います。

▼写経会

4月22日(土) 午後3時～ 予約不要です
 於：安洞院 会費500円 手ぶらで参加可能
 般若心経を一巻写経します。お子様向けのお手本は短いお経や写仏(仏画を写すもの)もご用意します。

▼お香ブレンド・匂い袋作りの会

4月30日(日) 午後3時～ ※要予約 20名
 於：安洞院 会費2,000円(教材費含む)
 貴重なお香の原料をブレンドしながら、匂い袋を作ります。茶話会あり、お気軽にご参加ください。

行事のご案内

▼護寺会費納入は4月末締切です

永代供養を除く檀信徒の皆様には護持会費納入のご案内が届いていることと思えます。地区内の方は世話人の集金にて、地区外の方は振込もしくは直接事務所までご持参ください。

▼シダレザクラが開花しました

例年よりも一週間以上遅れて本堂前のシダレザクラが満開を迎えました。震災以降、除染の影響もあったせいか元気が無くなってきているように思われます。全盛期から見ると3割ぐらいは花が少ないようです。何とか守りたいものです。ソメイヨシノは中旬以降に満開を迎えます。冬を越えて、境内にも春の花が季節の便りを運んでいます。



境内のシダレザクラ、満開の様子です。

Topics 1

七回忌慰霊法要 3.11 祈りの日

～安洞院の、いま～

東 日本大震災から七回忌を迎え、3月11日、境内祈りの広場にて慰霊法要が執り行われました。慰霊塔の両脇に3本ずつの仏塔が建立され、右端の1本目の仏塔に七回忌鎮魂の詩が刻まれ除幕式が行われました。

詩は安洞院檀徒、郷土の詩人・和合亮一先生によるもので、当日は犠牲者の冥福と安寧を祈り詩碑を前に朗読がなされました。残り5本の仏塔には今後13回忌、17回忌…と年忌ごとに詩が刻まれ、33回忌を以ってすべての仏塔に命が吹き込まれます。寺の宝として、地域の歴史を伝える大切な慰霊碑として、末代まで大切に守ってまいります。(詩は右欄に掲載)

夕方からは会場を本堂に移動し、全国から募集した震災をテーマとした手紙「祈りの手紙」の代表作が仏前にて朗読されました。朗読は和合亮一さんと女優の夏樹陽子さんのお二人が担当され、市井の人々のまっすぐな想いに静かに耳を傾けるひと時を過ごしました。特に心に響いた作品はホームページにて公開中です。

続いての芸能の奉納では、観世流能楽師・津村禮次郎さん、琵琶奏者・塩高和之さん、夏樹陽子さんによる戯曲『良寛』(作・和久内明)が奉納されました。



詩碑「鎮魂の詩」
詩・和合亮一
春のつぼみに涙を一つ
あなたの静かな眠りに祈る
あなたの分まで生きていく
明日もまためぐり会いたい
山と木と光の波とあなたの影に
吹き渡る風と雲にささやく
木の実をてのひらに
重たさを知ってほしい
ふるさとの夕暮れに

安洞院梅花講 リレーインタビュー 梅花とわたし 第3回 大房弘子 さん

結 成当初からの梅花講員の一人、大房弘子さんは今年で梅花十年目。いつも穏やかに場の空気を和ませてくれる方です。

大房さんがお寺に通うようになったのは今から14年前、現住職が本山から戻り坐禅会や写経会を始めたのがそのきっかけでした。以来、毎月の行事にご参加くださり、終了後の茶話会では年齢も性別も様々な人たちとの会話を楽しんでいらっしゃいました。

ご主人を送られてから始まったお寺通いでしたが、悩んだ時も話を聞いてもらえる友達ができたことも大きいとのこと。「坐禅を通して学んだことですが、悩んでも前に向かっていくことで本当にくよくよしなくなったんですよ」と語る大房さん。その姿もまた、同じように悩む人たちの心を癒してくれるのかもしれない。

「皆さんのおかげさまでここまで生きて来られました」そう前向きに語る姿はまだまだ生涯現役です。益々のご活躍をお祈り申し上げます。



▲大房弘子さん (撮影:住職)

News & Event

～お香ブレンドと匂い袋作りを体験～



◎匂い袋づくり体験しませんか？

日時 4月30日(日) 午後3時より 安洞院
会費 2,000円(教材費・茶菓子代として)
定員 20名 ※必ずご予約ください
申込 534-0939 または info@antouin.com

お香の歴史を学びながら、ひとつひとつの香原料の香りを聞いて調合を行います。調合したお香は色とりどりの袋に詰めて、匂い袋に。リラックス、鎮静効果が高いため、匂い袋は枕元や生活する空間の片隅に置くととても穏やかな気持ちになれます。

このプログラムは曹洞宗の被災地支援の一環として仮設住宅の訪問等で行うため、お香屋さんの協力により実現したものです。本来であれば門外不出の秘伝の調合レシピを公開します。お子様やお孫さんも一緒にご参加ください。

Topics 2 新しい先生をお迎えしました

～寺ヨガクラスからのお知らせ～

毎月第1・第3火曜日の10時より普門院・水月庵にて開催されているヨガの講師に、4月より岩谷早苗先生をお迎えすることになりました。長いキャリアを持つ岩谷先生のヨガは決して無理をさせず、年配の方におすすめの内容です。茶話会も楽しいひと時、ぜひご参加下さい。



住職雑感

春、新一年生がまぶしい季節です。卒園式を終えて入学準備をする春休みの期間は、園児でも小学生でもない不思議な期間。幼稚園の思い出を話すことで過去を振り返り、新しい6年間の期待と不安を胸に過ごす数週間、この期間に子どもは大きく成長するのだと思います。これは人間の四十九日も重なります。生命の死を迎え入れてから家族が離別をひとつひとつ受け入れていく中で、仏様になっていくのでしょう。▼安洞院のブログや写真を閲覧できるサイトを作りました。スマートフォンからも見やすく出来ています

